

平成28年度関東倶楽部対抗決勝競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 25倶楽部 ・ 150名)

期日：8月2日(火)

場所：袖ヶ浦カントリークラブ 袖ヶ浦コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	小野里 篤雄	JGM高崎ロイヤルオーク	福田 正明	富士笠間	石原 紀一	総武		
2	7:39	浅川 辰彦	武蔵	宮 辰夫	習志野	前田 正雄	岡部チサン	呉本 生福	諏訪湖
3	7:48	渋谷 重氏	新千葉	上重 修	東千葉	三母 英二	日本海	橋本 和一	ゴールデンレイクス
4	7:57	菅井 雅之	嵐山	竹田 賢司	寄居	加藤 健二	小田原・松田	中村 守	水戸グリーン
5	8:06	高橋 憲一	加茂	北原 弘	伊豆にらやま	梅原 豊司	富士宮	佐々木 清士	葛城
6	8:15	篠原 寿	伊香保国際	関 晴樹	戸塚	片野 由次	オリムピック	大和田 通明	高萩
7	8:24	斉藤 広己	大和根	市田 雅亮	袖ヶ浦	小池 敏幸	JGM高崎ロイヤルオーク	白井 敏夫	総武
8	8:33	木村 光方	習志野	藤森 勇一	諏訪湖	室野 歩	東千葉	国谷 賢吉	ゴールデンレイクス
9	8:42	小野 太佳司	寄居	出山 泰弘	水戸グリーン	丹野 富壽	伊豆にらやま	小久江 正人	葛城
10	8:51	浜橋 基樹	戸塚	江幡 幸佳	高萩	原田 晃	袖ヶ浦	半沢 秀幸	富士笠間
11	9:00	小川 透	岡部チサン	内野 秀治	武蔵	桜井 延秋	新千葉	生居 慎司	日本海
12	9:09	中川 雅義	富士宮	佐々木 鉄男	小田原・松田	嶋野 菊治	加茂	辻 啓一	嵐山
13	9:18	白浜 茂靖	オリムピック	杉山 茂	伊香保国際	遠藤 拓男	大和根	猿渡 猛	JGM高崎ロイヤルオーク
14	9:27	新村 照平	日本海	呉本 公太	諏訪湖	森 一郎	武蔵	荒井 貞雄	寄居
15	9:36	山崎 雅文	葛城	那須 久治	加茂	榎本 幸和	オリムピック	阪田 哲男	袖ヶ浦
16	9:45	笹島 栄一	富士笠間	山田 秀樹	習志野	伊藤 和久	新千葉	矢吹 元良	ゴールデンレイクス
17	9:54	高井 正行	小田原・松田	野上 直彦	伊豆にらやま	狩野 又男	伊香保国際	田原 一夫	高萩
18	10:03	齋藤 眞澄	総武	関根 幸一	岡部チサン	八木 伸二	東千葉	竹村 昭雄	嵐山
19	10:12	宇留野 彰	水戸グリーン	加藤 至康	富士宮	柳澤 達哉	戸塚	山口 雅司	大和根

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
20	7:30	廣瀬 光成	JGM高崎ロイヤルオーク	小寺 聡司	習志野	豊島 豊	東千葉		
21	7:39	田中 良博	寄居	岩崎 寛之	伊豆にらやま	金子 光規	戸塚	水上 晃男	袖ヶ浦
22	7:48	吹野 耕一	富士笠間	前田 男	岡部チサン	目黒 学	日本海	風間 智行	小田原・松田
23	7:57	中跡 朝臣	富士宮	上條 覚	オリムピック	杉山 稔	総武	小林 浩之	諏訪湖
24	8:06	小野 慶	ゴールデンレイクス	木村 利治	水戸グリーン	金村 利光	葛城	軍司 悦弘	高萩
25	8:15	小林 勝美	武蔵	門田 実	新千葉	阿部 勝彦	嵐山	望月 幹仁	加茂
26	8:24	浅野 基和	伊香保国際	竹村 亥一郎	大和根	橋爪 義典	JGM高崎ロイヤルオーク	金井 篤司	岡部チサン
27	8:33	流 英一	加茂	滝沢 眞澄	ゴールデンレイクス	岡本 聡	戸塚	中野 正義	富士笠間
28	8:42	関澤 誠	嵐山	茅野 弘喜	諏訪湖	工藤 和彦	伊豆にらやま	百瀬 一男	オリムピック
29	8:51	富永 勝	総武	石毛 昌則	新千葉	荒井 建次	寄居	土井 致萬	富士宮
30	9:00	井坂 伸次	高萩	大野 達朗	武蔵	庄司 由	東千葉	海老澤 将之	小田原・松田
31	9:09	神戸 庄二	葛城	堀切 郁夫	大和根	青木 慶太	習志野	渡辺 泰一郎	日本海
32	9:18	小暮 大輔	水戸グリーン	有賀 正起	伊香保国際	柳澤 信吾	袖ヶ浦	小見 康雄	JGM高崎ロイヤルオーク
33	9:27	座光寺 透	諏訪湖	川井 光洋	寄居	松浦 勝志	葛城	中部 隆	袖ヶ浦
34	9:36	金岡 治久	新千葉	太田 智喜	富士笠間	原 克宣	小田原・松田	井草 洋一	伊香保国際
35	9:45	永田 礼義	日本海	小林 隆寿	東千葉	大澤 信行	水戸グリーン	酒匂 洋治	戸塚
36	9:54	小林 賢三	オリムピック	公原 一	総武	土井 克祥	加茂	日比生 賢一	武蔵
37	10:03	久保 真一郎	習志野	小林 聡夫	ゴールデンレイクス	小島 哲志	伊豆にらやま	今村 智哉	高萩
38	10:12	高橋 一誠	岡部チサン	菊池 知己	嵐山	長友 健太	富士宮	中田 辰悟	大和根

競技委員長 内藤正幸

平成 28 年度 関東倶楽部対抗決勝競技

開催日 : 8月2日(火)

開催コース : 袖ヶ浦カンツリークラブ袖ヶ浦コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤線をもってその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
(b) 17番ホールグリーン右側にある祠はプレー禁止の修理地とする。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
(a) 排水溝
(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
- コースと不可分の部分
樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
- ホールとホール間の白杭
11番と12番ホール及び17番と18番ホール間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	398	472	425	406	170	325	416	160	557	3329
BクラスYards	414	491	436	418	185	349	430	177	567	3467
Par	4	5	4	4	3	4	4	3	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
372	325	138	320	425	354	487	204	502	3127	6456
372	350	151	354	447	380	510	231	516	3311	6778
4	4	3	4	4	4	5	3	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. 移動

『付属規則 I(B)8 移動』を適用する(ゴルフ規則 183 ページ参照)。

9. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

10. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 箱(144 球)を限度とする。
※使用クラブは、アイアンのみとする。

競技委員長 内藤正幸